

学力向上に効果のある取組事例

日出町立豊岡小学校

①基礎的・基本的な知識及び技能の習得

取組の具体

【基礎・基本を身に付けた児童の育成】

○豊岡学習スタンダードの徹底

- ・全校で学習規律を統一し、指導の一貫性をもたせる。
- ・児童に授業に向かう気持ちの切り替えを意識させる。

○教科担任制及び交換授業

- ・複数学級での授業を実施することにより、指導方法の工夫改善が図られる。
- ・教材研究や教材教具の準備の時間を確保することにより、ICT機器等も活用した、わかりやすく充実した授業づくりに努めることができる。
- ・複数の教員で指導することにより、児童理解が深まり、学習および生活指導に生かすことができる。

○SA(スクール・アシスタント)の活用

- ・学習ボランティアに、算数のプリントの○付けや計算カード、九九の聞き取り等、国語、算数を中心に学習の補助をお願いし、褒めたり、励ましたりしてもらうことにより、基礎・基本の定着と児童の学習意欲向上につながる。

○自主学習の取組

- ・自ら課題を見つけ、進んで学習に取り組む意欲を身に付けさせる。
- ・発達段階に応じて、低学年から自主学習に取り組み、学年が上がるにつれて、自己調整力を身に付ける。
- ・好事例を提示し、紹介する。

○読書活動の取組

- ・全校朝読書、月2回の読み聞かせ、家読の日(毎月第4金曜日)を設定し、たくさん本に親しむことで語彙力を身に付ける。

【考えをもち、言葉で表現できる児童の育成】

○授業における言語活動の充実

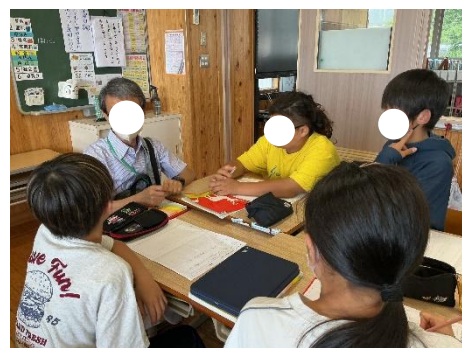
- ・児童が考えを伝えたいような課題や、議論が深まる問いを工夫する。
- ・授業において、自己決定の場、振り返りの場を1日1回以上設定する。
- ・授業において1回以上、意見を交流する場を設定する。
- ・ICT機器や思考ツールを効果的に活用する。

○共感的人間関係づくり

- ・週1回、朝活動(金曜日)で、人間関係づくりプログラムに取り組んでいる。

豊岡 学習スタンダード(SD)

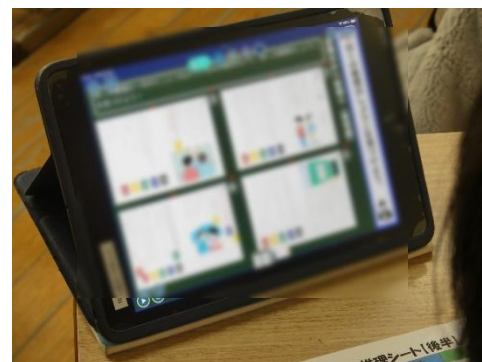
1. 時間をきちんと(チャイムでうごく)
2. じゅんぴをきちんと
(わすれ物ゼロ、5分の準備)
3. 話の聴き方をきちんと
(聴き方「あいいうえお」)



【6年国語 SAさんにインタビュー】



【5年生 自主学習】



【4年 ICTを活用した授業】